

公述人 1（会場①国土交通省関東地方整備局下館河川事務所）

意見の概要

1 河川整備計画にはこれまでの反省が見られない。九月の洪水で人命が失われて初めて動いたとしか言えない。

2 九月洪水は計画高水五〇〇〇トンを下回る四三〇〇トンで起きた。湯西川ダムを優先して堤防整備を怠ったためだ。

3 堤防改良工事は良いことだが、これまで私たちは耐越水堤防の実施を何回も申し入れてきた。しかし国交省は土堤原則とやらをかざし頑なに拒んできた。

4 若宮戸は河川区域が曖昧であり、民間業者の非常識を傍観してきた。現時点の土囊による対策は事の重大さを肝に銘じていない証拠だ。一刻も早く三坂地区同様の緊急堤防で対処すべきだ。